

—ガレから現代まで—



上左:エミール・ガレ「ガラス工場風景文花器」(部分)1900年  
中央:ルネ・ラリック「花器・パックスの巫女」1927年  
上右:エードヴァルド・ハルド「鉢・雷雨」1953年

平成21年度市町村立美術館活性化事業 第10回共同巡回展  
北海道立近代美術館ガラスコレクション

# ガラス工芸の精華

## 瀬戸市美術館

会 期:2009年6月13日(土)~2009年7月20日(月・祝)  
開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで)、初日は11時開館 休館日:7月14日(火)  
<http://www.city.seto.aichi.jp/setomono/art/>

## 日立市郷土博物館

会 期:2009年8月1日(土)~2009年9月6日(日)  
開館時間:9時30分~16時30分(入館は16時まで) 休館日:8月31日(月)  
<http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/museum/>

## 石川県能登島ガラス美術館

会 期:2009年9月19日(土)~2009年10月25日(日)  
開館時間:9時~17時(入館は16時30分まで) 休館日:なし  
<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/>

## はつかいち美術ギャラリー

会 期:2009年11月7日(土)~2009年12月13日(日)  
開館時間:10時~18時(入館は17時30分まで)  
休 館 日:11月9日(月)、11月16日(月)、11月24日(火)、11月30日(月)、12月7日(月)  
<http://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/>

主 催:第10回共同巡回展実行委員会、各開催館  
特別協力:北海道立近代美術館  
助 成:財団法人地域創造

問い合わせ先  
各開催館もしくは第10回共同巡回展実行委員会事務局  
(〒489-0884愛知県瀬戸市西茨町113-3 瀬戸市美術館内 Tel 0561-84-1093)

# ガラス工芸の精華

平成21年度市町村立美術館活性化事業 第10回共同巡回展  
北海道立近代美術館ガラスコレクション

## 第I章 プロローグ

ヴェネツィア、イギリス、オーストリアなどのガラス

## 第II章

アール・ヌーヴォーのガラス  
ガレ、ドームなど

エミール・ガレ  
「虫文花器」1889年



ドーム「孔雀文花器」  
1914年頃



—ガレから現代まで—

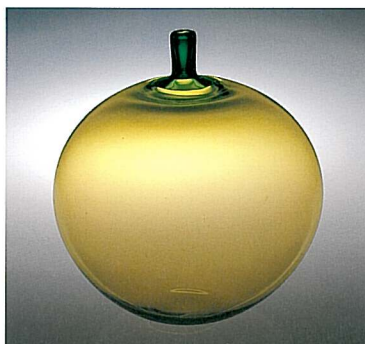
## 第III章

アール・デコのガラスと  
新たな胎動

ラリック、マリノ、ドームなどのガラス  
とスウェーデンのガラス



ルネ・ラリック「ラジエータ・キャップ・勝利」1928年



インゲボリィ・ルンディーン「花器・りんご」1957年



エーヴァルド・ダールスクーグ  
「蓋付台付鉢・メリーゴランド」1926年

エルヴィン・アイシュ  
「インター=ネット」  
1997年



高橋禎彦  
「花のような」  
2002年



岩田藤七「貝」  
1964年

## 第IV章

日本のガラスの先駆者たち

岩田藤七、各務鑑三、藤田喬平、岩田久利

## 第V章

多様化する現代のガラス

ヨーロッパ、アメリカ、日本の作家たち

ガラスの起源は、4500年以上も昔にさかのぼると言われています。ガラスの透明性、光を透過したり、反射、屈折させる独特の性質は、時代や地域を越えて人々を魅了してきました。

15世紀にヴェネツィアで花開いた繊細優美なガラス工芸は、ヨーロッパ中で愛され、王侯貴族の羨望の的となりました。その秘法は各地へ伝わり、やがてボヘミア、イギリスなどでも独自のガラス工芸が生まれていきます。そして19世紀、ヨーロッパ社会の近代化と足並みを揃えて盛り上がりを見せたアール・ヌーヴォー様式は、ガラス工芸にも大きな変革をもたらしました。ガレ、ドームらによるガラス工芸の新しい魅力の探求は、アール・デコの時代に引き継がれ、ラリックによるデザインを意識した方向性や、マリノやテュレらの個人作家による活動の先駆けがみられるようになります。

戦後、ガラスが芸術表現の一素材として迎えられると、スタジオガラス運動が世界中に広がっていきました。また、岩田、各務らによる日本のガラス工芸の新しい展開も忘れることができません。

全国4館を巡回する本展覧会では、北海道立近代美術館が収集を続けてきた近現代のガラスコレクションから各時代を代表する優品を選び、一堂にご覧頂きます。

### 瀬戸市美術館

2009年6月13日(土)～2009年7月20日(月・祝)  
開館時間:9時～17時(入館は16時30分まで)、初日は11時開館  
休館日:7月14日(火)

### 日立市郷土博物館

2009年8月1日(土)～2009年9月6日(日)  
開館時間:9時30分～16時30分(入館は16時まで)  
休館日:8月31日(月)

### 石川県能登島ガラス美術館

2009年9月19日(土)～2009年10月25日(日)  
開館時間:9時～17時(入館は16時30分まで)  
休館日:なし

### はつかいち美術ギャラリー

2009年11月7日(土)～2009年12月13日(日)  
開館時間:10時～18時(入館は17時30分まで)  
休館日:11月9日(月)、11月16日(月)、11月24日(火)、  
11月30日(月)、12月7日(月)

問い合わせ先  
各開催館もしくは第10回共同巡回展実行委員会事務局(〒489-0884愛知県瀬戸市西茨町113-3 瀬戸市美術館内) Tel 0561-84-1093)

主催:第10回共同巡回展実行委員会、各開催館  
特別協力:北海道立近代美術館/助成:財団法人地域創造

瀬戸市美術館

TEL 0561-84-1093

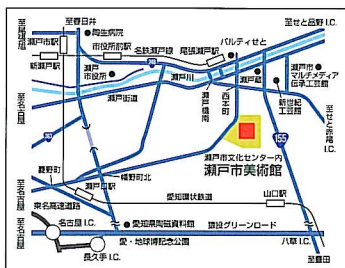
日立市郷土博物館

TEL 0294-23-3231

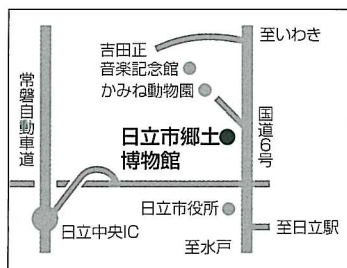
石川県能登島ガラス美術館

TEL 0767-84-1175

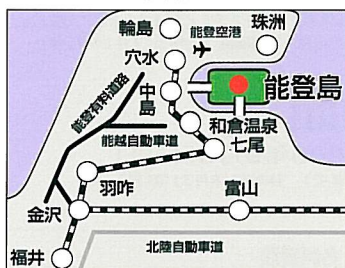
はつかいち美術ギャラリー TEL 0829-20-0222



〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町113-3  
<http://www.city.seto.aichi.jp/setomono/art/>



〒317-0055 茨城県日立市宮田町5-2-22  
<http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/museum/>



〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町125-10  
<http://www.city.nanao.lg.jp/glass/>



〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-11-1  
<http://www.hatsukaichi-csa.net/gallery/>